

平成 29 年度 第 7 回柿崎区地域協議会次第

日時：平成 29 年 10 月 30 日（月）午後 6 時 30 分

場所：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 協議事項

(1)地域の皆さんと地域協議会委員との懇談会のまとめについて …… [資料No.1]

5 自主的に審議する事項

(1)柿崎区保育園にかかる課題と今後について

6 報告事項

(1)会長からの報告

・柿崎区地域協議会視察研修について …… [資料No.2]

(2)市からの報告

・台風 21 号による被害状況等（柿崎区） …… [資料No.3]

・地域おこし協力隊について …… [資料No.4]

7 その他

・第 8 回柿崎区地域協議会の開催日について

日 時：平成 29 年 月 日（ ） 時 分～

会 場：

・第 9 回柿崎区地域協議会の開催日について

日 時：平成 29 年 月 日（ ） 時 分～

会 場：

8 閉 会

「地域の皆さんと地域協議会委員との懇談会」実行委員会報告

◆災害発生時の町内会や保育園・学校などにおける子どもや高齢者の避難支援体制

- * 住民全員の顔がお互いにわかる町内会がある一方、数百軒単位で自主防災組織、避難訓練が不可欠な町内会もある。行政も一律に対応できないのではないか。
- * 個人情報の問題があり、実際の住民の状況を把握しきれなくなっている地域がある。
- * 要支援者名簿などの情報を電子データ化し、総合事務所で一括管理することはできないか。
- * 要支援者を支援する担当者も高齢者という状況である。
- * 災害発生時刻によっては、さらに避難計画どおりに実行できるか不安。
- * 徒歩で避難するしかない住民の避難方法をどうするか。また、車で避難した場合の駐車場の確保をどうするか。
- * 災害発生時の避難所の開設にあたり、鍵は誰が開けるか、災害備蓄品が不足していないか、高齢者等の方が休めるか、バリアフリーやトイレは問題ないかなど確認が必要。
- * 福祉避難所の利用者リストも作られているが、避難にあたっては、専門的な知識と技術、道具も必要で住民が行うのは難しいのではないか。
- * 災害発生時、子供たちの登下校等に関する緊急連絡網の再確認が必要と感じた。

<行政へ要望>

- ・ 災害発生時の避難支援体制は、行政が主体となり、各町内会共通のルール作りが重要と考える。
- ・ 町内会により状況はかなり異なるが、町内会任せでなく、自主防災組織、個別避難計画書等、全町内会長への周知徹底、きめ細かい指導をお願いしたい。
- ・ 福祉避難所の運用に関して、地元説明会や訓練等が必要ではないか。
- ・ 組織が実際に機能しているか、定期的な検証を要望する。
- ・ 町内会長会と行政との連携を密にし、住民の要望が届くようにお願いしたい。

◆空き家が増えている状況と対策

- * 町内によってかなり偏りがあるが、全体としては、今のところ管理できている空き家が比較的多い。
- * 持ち主が不明で困っているケースは、総合事務所に相談して持ち主に連絡をとってもらおう。
- * 東京在住の方が別荘にしている家もある。改装して移住を進めるなど空き家の有効活用に期待する。
- * 空き家を解体するには高額な費用が必要なうえ、更地にすると固定資産税が上がる。これが放置される最大の理由では。
- * 各町内会で、町内会費等の徴収に苦勞している。負担額もかなり異なっている。行政から指針は出せないものか。

<行政へ要望>

- ・ 空き家の持ち主に「上越市空き家等及び特定空き家等除却費補助金」等、解体に対する補助制度があることを積極的に通知してほしい。
- ・ 利用可能な空き家は「上越市空き家情報バンク制度」の活用等、有効利用へのさらなる取り組みを期待する。
- ・ 「上越市空き家等対策協議会」の活動をお聞きしたい。

◆その他

- * 運転免許証を返納した後の交通手段に不安を感じる。販売巡回車・巡回バスの運行、デマンドバス運行の工夫、スクールバスの利用などの検討を希望する。
- * 「お引き上げ」時のバスの運行を工夫してほしい。
- * 若い人の人口を増やしたい。若い人が働きたい職場の誘致に、市も力を入れてほしい。
- * 世代を超えて参加できる行事を増やし、子供たちと一緒に地域を元気にしたい。
- * 上下浜駅の階段を使わずにホームへ行けるよう改善してほしい。
- * 出張懇談会は、参加したい住民が歩いて行ける規模で開催してほしい。
- * 定期的に原発事故の避難訓練が必要と考える。

<地域協議会として>

- ・ バスの運行に関する住民の声を伝えるために「上越市地区公共交通懇話会」に働きかけ、話し合いの機会を設けたい。
- ・ 来年度の懇談会開催をどうするか。

平成 29 年度 柿崎区地域協議会視察研修行程表

1 視 察 先 : 富山県射水市

2 日 時 : 平成 29 年 11 月 22 日 (水) 午前 8 時 30 分～午後 5 時

3 行 程

(集 合) 午前 8 時 25 分 柿崎区総合事務所

(出 発) 午前 8 時 30 分 柿崎区総合事務所



(到 着) 午前 11 時

(視察研修) 空き家活用や移住定住の取組について、(株)地域交流センター企画
代表 明石博之さん(六角堂オーナー)からお話を伺い、施設や地域
を案内していただく

(昼 食) 六角堂でオーガニックカレーセットをいただく

(出 発) 午後 2 時 30 分



(到 着) 午後 5 時 柿崎区総合事務所

台風 21 号による被害状況等 (柿崎区)

1 降雨等の状況

(1) 降雨の状況

[柿崎区北黒岩観測所]

10月22日から10月23日午後10時までの降雨量 226mm

最大時間雨量 10月23日午前5時 26mm

(2) 河川の水位状況

[10月23日 柿崎川角取観測所]

時刻	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00
水位	1.83m	2.35m	3.00m	3.71m	3.82m	3.69m	3.76m
水防団待機水位 2.95m、氾濫注意水位 3.60m、避難判断水位 3.91m、氾濫危険水位 4.21m							

2 被害状況 (10月25日正午現在)

(1) 建物被害

区分	住 家			非住家		合計
	一部損壊	床上浸水	床下浸水	一部損壊	浸水	
市全体	11件	1件	28件	13件	54件	107件
柿崎区	—	—	—	3件	—	3件

(2) 道路・水路等の被害

	道路	農道	林道	河川	農地	農業用施設	その他	合計
市全体	140件	40件	72件	2件	72件	44件	19件	389件
柿崎区	8件	1件	6件	2件	1件	8件	3件	29件

※その他の内訳：農作物、土砂災害、倒木など

(3) 公共施設の被害

マリンホテルハマナスポーチ軒天剥離、吉川ゆったりの郷浴室軒天剥離・生垣倒木、柿崎地区公民館別館雨樋落下、柿崎屋内水泳プール下見板落下 計5件

3 避難状況

(1) 避難準備・高齢者等避難開始指示 (緊急) 対象町内会

【6:30 発表】 行法、角取、落合、下条 [4町内会、82世帯、256人対象]

【14:40 解除】

(2) 避難人数 (ピーク時)

下黒川小学校 1人

福祉避難所 対象者2人、避難者0人

地域おこし協力隊の配置について

1 柿崎区に2人目の地域おこし協力隊を配置

黒川・黒岩地区は、高齢化が進み農業を継続することが困難な状況になっていることから、農地の維持、集落の維持と活性化を図るため、市では平成27年から地域おこし協力隊を募集した。

東京で開催される新・農業人フェア等のイベントへの参加、いなか体験ハウスでの体験や現地見学希望者の受け入れ、ホームページ等でのPR活動に積極的に取り組んだことにより、平成28年10月に1人目の地域おこし協力隊として、ガルシア・バランコ・エミリオ隊員を採用し、この度2人目の地域おこし協力隊として小田切房子隊員を採用した。

2 隊員紹介

- ・氏名：小田切 房子（おだぎり ふさこ）
- ・性別：女性
- ・前居住地：神奈川県相模原市

3 採用年月日

- ・平成29年10月1日

4 配置先

- ・活動範囲は、柿崎区中山間地域農業振興会を構成する11集落
- ・構成集落：芋島、松留、上中山、猿毛、水野、下牧、平沢、米山寺、東横山、南黒岩、北黒岩

5 主な業務

- ①稲作・伝統野菜づくり支援
 - ・就農に向けた稲作作業と米販売の補助
 - ・特産品の採取や栽培、加工、販売等の補助
(ご当地野菜「横山人参」の特産化など)
- ②都市住民との交流支援
 - ・地区出身者や都市住民との交流や地域おこしイベント等の開催支援
(猿毛集落「川あそび」イベント等)
- ③生活支援
 - ・道普請、用水普請、祭り準備など、集落の共同作業手伝い